

船橋市における「いじめ問題の現状と取組状況等に関する調査」
令和3年度【年間(集計)】調査報告結果のまとめ

資料①

令和3年4月1日～令和4年3月25日

1 いじめの認知件数		小	中	計
認知件数		7882	1117	8999
2 警察に相談・通報した件数		(件)		
いじめの認知件数のうち、警察に相談・通報した件数		1	6	7
3 いじめの現在の状況		(件)		
(1)	解消しているもの【2期までの合計】	5899	901	6800
(2)	解消に向けて取組中(いじめを認知してから3か月以上経過しているもの)【2期までの解消していない件数】	501	65	566
	解消に向けて取組中(いじめを認知してから3か月経過していないもの)【3期の認知件数(その他を除く)】	1482	151	1633
(3)	その他(転校等)	0	0	0
計	※計の件数は、認知件数と一致すること	7882	1117	8999
4 いじめの認知件数の学年別、男女別内訳		(件)		
1年生	男子	815	423	
	女子	678	221	
	小計	1493	644	
2年生	男子	957	183	
	女子	715	129	
	小計	1672	312	
3年生	男子	901	89	
	女子	785	72	
	小計	1686	161	
4年生	男子	685		
	女子	553		
	小計	1238		
5年生	男子	614		
	女子	448		
	小計	1062		
6年生	男子	424		
	女子	307		
	小計	731		
計	※計の件数は、「1 いじめの認知件数」と一致すること	7882	1117	8999
5 いじめの発見のきっかけ		(件)		
学校の教職員等が発見した件数		6214	807	7021
内訳	学級担任が発見した件数	555	85	640
	学級担任以外の教職員が発見した件数(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	24	15	39
	養護教諭が発見した件数	1	2	3
	スクールカウンセラー等の相談員が発見した件数	22	1	23
	アンケート調査などの学校の取組により発見した件数	5612	704	6316
学校の教職員以外からの情報により発見した件数		1668	310	1978
内訳	本人からの訴えにより発見した件数	1268	219	1487
	本人の保護者からの訴えにより発見した件数	283	37	320
	他の児童生徒からの情報により発見した件数	107	44	151
	他の保護者からの情報により発見した件数	9	6	15
	地域の住民からの情報により発見した件数	0	2	2
	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報により発見した件数	1	1	2
	その他(匿名による電話や投書など)により発見した件数	0	1	1
計	※計の件数は、「1 いじめの認知件数」と一致すること	7882	1117	8999

(1)一昨年(令和元年度)と比較(特徴的な項目を抜粋)

【小学校】

○認知件数 +1574件

○いじめ発見のきっかけ

アンケート調査による発見+1577件 本人保護者からの発見+87件

学級担任が発見-43件 SCが発見-5件 本人からの訴え-6件 他の児童からの発見-10件 他の保護者からの発見-25件

【中学校】

○認知件数 -64件

○いじめ発見のきっかけ

学級担任が発見+14件 アンケート調査による発見+190件

本人からの訴え-194件 他の生徒からの発見-59件

(2)アンケート調査による発見が多いことから、引き続き、各校において年間複数回(3回以上が望ましい)の実施をお願いします。

なお、いじめの解消は「3か月間、いじめの実態がなく、心身に苦痛を感じていないこと」であることを踏まえ、アンケート調査を3か月ごとに行うと、いじめの解消が確認しやすいです。

6 いじめられた児童生徒の相談の状況(複数選択可)				(件)
①	学級担任に相談した。	6055	914	6969
②	学級担任以外の教職員に相談した(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	165	87	252
③	養護教諭に相談した	76	17	93
④	スクールカウンセラー等の相談員に相談した	68	19	87
⑤	学校以外の相談機関に相談した(電話相談やメール等も含む)	20	11	31
⑥	保護者や家族等に相談した	1561	193	1754
⑦	友人に相談した	792	137	929
⑧	その他の人(地域の人など)に相談した	91	8	99
⑨	誰にも相談していない	641	64	705
計	※計の件数は、「1 いじめの認知件数」と一致または上回る	9469	1450	10919
7 いじめの態様(複数選択可)				(件)
①	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句等、嫌なことを言われる	4468	721	5189
②	仲間はずれ、集団による無視をされる	1157	133	1290
③	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	2334	223	2557
④	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	591	45	636
⑤	金品をたかられる	82	6	88
⑥	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	577	52	629
⑦	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	480	60	540
⑧	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる	125	97	222
⑨	その他(※件数がある場合は以下に記入する。)	246	57	303
計	※計の件数は、「1 いじめの認知件数」と一致または上回る	10060	1394	11454
※その他については、ほとんどが⑦の嫌なことに当てはまる内容でした。報告の際には、改めて確認をお願いします。				
8 いじめの対応状況				(件)
(1) いじめる児童生徒への特別な対応(複数選択可)				(件)
①	スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った	67	12	79
②	校長、教頭が指導した	73	1	74
③	別室指導した(いじめられた児童生徒を守る観点で、いじめる児童生徒を別の教室等で授業等を行った場合に計上する。単に別室で話を聞いたり、指導したりするのは含まない。)	10	6	16
④	学級替えをした(年度途中)	0	0	0
⑤	懲戒処分としての退学	0	0	0
⑥	その他(勧奨・申出による退学及び転学)	1	0	1
⑦	停学	0	0	0
⑧	出席停止	0	0	0
⑨	自宅学習・自宅謹慎	0	0	0
⑩	訓告(懲戒処分として明示したもの)	0	0	0
⑪	保護者への報告	1272	340	1612
⑫	いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	1928	375	2303
⑬	警察等の刑事司法機関等との連携	7	11	18
⑭	児童相談所等の福祉機関等との連携	7	0	7
⑮	病院等の医療機関等との連携	0	0	0
⑯	その他の専門的な関係機関との連携	1	2	3
⑰	地域の人材や団体等との連携	2	0	2
計		3368	747	4115
(2) いじめられた児童生徒への特別な対応(複数選択可)				(件)
①	スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	58	37	95
②	別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	65	35	100
③	緊急避難として欠席させた	1	1	2
④	学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	36	30	66
⑤	学級替えをした(年度途中)	0	0	0
⑥	当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した	9	5	14
⑦	児童相談所等の関係機関と連携して対応した(サポートチームなども含む)	4	2	6
計		173	110	283
(1)一昨年(令和元年度)と比較(特徴的な項目を抜粋)				
【小学校】				
○いじめられた児童生徒の相談状況 学級担任に相談+1023件 保護者や家族に相談+354件 友人に相談+229件 誰にも相談していない+150件 SC等に相談-14件				
○いじめの態様 冷やかしかからかい+728件 軽くぶつかられる+627件 パソコン等+51件 金品たかり-20件 金品隠し等-33件				
【中学校】				
○いじめられた児童生徒の相談状況 学校以外の相談機関+3件 その他の人+4件 誰にも相談していない+25件 担任以外の教職員-46件 養護教諭-33件 保護者や家族等-105件 友人-58件				
○いじめの態様 軽くぶつかる+55件 パソコン等+40件 冷やかしかからかい-122件 仲間はずれ-30件 ひどくぶつかる-24件				
(2)いじめの対応状況について いじめる児童生徒への特別な対応の「③別室指導」については、いじめられた児童生徒を守るために、いじめる児童生徒を別室に取り出して授業等を行った場合の計上なので、報告の際に確認をお願いします。				

9 学校が行ったいじめ防止に関する取組（複数回答可）				（校）
①	いじめに関するアンケート調査(児童生徒対象)	163	78	241
②	生活アンケート等の調査	130	60	190
③	連絡帳や生活記録ノート等を利用した内面調査	49	73	122
④	いじめに関するアンケート調査(教職員対象)	27	15	42
⑤	いじめに関するアンケート調査(保護者対象)	26	9	35
⑥	学年単位での講話や発表会等	42	31	73
⑦	学校単位での講演会や発表会等	23	20	43
⑧	研修会(教職員対象)	48	21	69
⑨	研修会(保護者対象)	4	1	5
⑩	1000か所ミニ集会等でいじめをテーマにした話し合い等	1	4	5
⑪	「いじめゼロ宣言」に関する取組や掲示等	97	51	148
⑫	インターネットを通じて行われるいじめの防止に関する情報モラル教育	106	57	163
⑬	SOSの出し方に関する教育(ここに“1”をつけた場合に以下の内容を記入する)	94	50	144
⑭	その他(ここに“1”をつけた場合は以下に内容を記入する)	14	3	17
<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談シートの取組・・・毎日、各学級2名程度に、「面談シート」を配り、悩み事や相談したいことがあるかどうかを聞き、児童が相談したいことがあった場合、児童の希望する職員と面談(話を聞く)をする取り組み。月に2回程度回ってくるので、いじめの早期発見につながっている。 ・生活アンケート(いじめアンケート)の回答をもとにして、担任と学級児童が全員面談を行った。アンケートについては、教員との面談前に保護者に見てもらい、必要に応じて加筆をいただいている。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の相談箱の設置 ・SCによる全員面談 <p>※その他、⑦に近い内容(人権教室、生徒指導担当者によるオンラインで全校への話など)</p>				
10 児童生徒が主体となって行ったいじめ防止に関する取組(複数回答可)				（校）
①	児童生徒が主体となって特に行っていない	24	12	36
②	クラス単位でのいじめに関する児童生徒の話し合い	93	48	141
③	児童会や生徒会を中心としたキャンペーン活動等	67	31	98
④	学校版「いじめサミット」	1	3	4
⑤	「いじめゼロ宣言」に関する取組や掲示物等	68	40	108
⑥	いじめ防止に関する掲示物等(ポスターや標語等)	92	44	136
⑦	その他(ここに“1”をつけた場合は以下に内容を記入する)	3	3	6
<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめをしない宣言をした児童の名札に、シールを貼り、意識させた。 ・児童会活動の中で、いじめは絶対にだめだということをスローガン等を作成し呼びかけ。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業 				
11 いじめ防止対策委員会(いじめについて協議する会議)の開催回数について(回数を記入)				（回）
①	定期的で開催した回数	701	760	1461
②	臨時的に開催した回数	32	50	82
<p>○定期的な開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの学校が月に1回開催しています。 <p>○臨時的な開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ事案発生時には、「学校いじめ防止基本方針」に沿って開催してください。 ・特に、いじめ(疑い含む)が理由の欠席については、いじめの重大事態につながるものが想定されます。初期段階からしっかりと組織による対応をお願いします。 				